



# 調布 狛江 保護司会だより

No.49  
発行責任者  
調布狛江保護司会  
会長 宮内 弘

ラージャグリハ 霊鷲山(インド)にて:酒井保護司撮影



会長就任の「あつち」

調布・狛江地区保護司会 会長 宮内 弘

本年四月開催の定例総会において石黒前会長の後任として信任をいただき、調布・狛江地区会長を務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

当保護司会においても、三年前より新型コロナウイルスの感染拡大により活動が制限されてきました。令和元年まで長年続けてきた神代農場、深大寺における社会参加活動をはじめ、調布・狛江両分区における社会を明るくする運動、定例研修をはじめとして地区、分区自主研修等を中止せざるを得ない状況になり、令和二年度は地区総会も書面決裁となりました。この「保護司だより」も休刊せざるを得ない状態になりました。

しかし、二月からは感染拡大防止の環境を整えた中で理事会を開催し、各事業がいつ行えるようになるか分からない中、話し合いを続けて来ました。その甲斐あってか、令和四年には深大寺社会参加活動を久々に開催することができました。研修についても年三回の定例研修をはじめとして、地区、分区自主研修等も以前どおりに行えるようになってきました。本年度は六月に久々の神代農場社会参加活動を予定していましたが、当

日雨天の予報だったためやむなく中止しました。七月の社会を明るくする運動では、狛江市、調布市共に駅頭広報を行うことが出来、狛江市では推進大会・中学生のコンサートが行われ、調布市においても十一月に中学生意見発表会を予定しております。地区事業において、この三年間のブランクは大変大きな問題です。

どんな団体でも三年間の空白を埋めるといことは容易なことではありません。当地区では、本年も深大寺での社会参加活動を計画しております。出来れば保護司会会員ならびに更生保護女性会、BBS会、桐友会の皆様には年末の忙しい中、御労苦とは思いますが、ご協力のほど宜しくお願いいたします。

この失われてしまった三年間を取り戻すのは大変な事だとは思いますが、これからの活動で精一杯がんばっていきたく思いますので会員の皆様のご協力を宜しくお願いいたします。本年四月より地区会長という立場で活動させていただいておりますが、皆様のご支援無しでは何も出来ません。今後とも宜しくお願いいたします。



## 副会長あつし

副会長 川又 剛

本年度の総会において、副会長を務めることになりました。まだまだ未熟ではありますが微力ながらも皆様のご指導ご鞭撻を賜り、職責を全うする所存でございます。何卒宜しくお願いいたします。

本年度は、すべての行事が四年ぶりの開催になります。一つ一つ丁寧に行事を進めていきたいと思っておりますので、皆様のご協力をお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

副会長 須田 啓文  
本年四月より調布・狛江地区保護司会副会長を務めさせていただくことになりました。副会長という新しい立場につくことにあたりまして、微力ではございますが一層の努力を重ねて参る所存でございます。

コロナ禍による制約から抜け出しつつある中「社会を明るくする運動」では多くの方々の協力で成果を上げることができました。前副会長のように気配りを忘れず万事スムーズにといいわけにはまいりませんが、精一杯努めますのでご指導ご協力のほどよろしくお願いいたします。

## 主任あつし

保護観察官

齊藤 潤二



保護司の皆様には、平素から更生保護活動推進のため御苦労いただき、心から敬意と謝意を表します。ご縁があつて調布・狛江地区を担当させていただくこととなりました。皆様との出合いを楽しみに、大切にしていきたいと思います。

コロナ禍も四年目に入り、全体的な意識が減少する一方、ポストコロナに対する社会像の潮流は不可逆的に加速しています。社会が不安定な状況で更生保護に対する社会の期待が一段と高まっている中、更生保護観察所と地方公共団体その他の関係機関・団体との連携及び協力関係を一層強化し、地域社会の安全・安心を図り、皆様の御理解・御協力を得ながら、調布・狛江地区の更生保護のため尽力してまいりたいと考えております。引き続き、ご指導並びにご鞭撻を賜りますよう、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

## 部長あつし

総務部長 長谷 瑞信

先期と言ってもコロナ禍の為に地区の行事はほとんど無く、正常な状況での総務部活動はまだまだ未経験なことばかりです。ようやく今年度に入り、保護司会の地区活動が行えるようになりました。先期はほとんど開けなかった部会も、通常通りの開催が出来るかと思えます。

総務部には、元会長をはじめベテランの方が多く所属し、一番素人なのが私という状況です。諸先輩の皆様にご助言を頂き、部長職に励んでいきたいと思えます。

地域活動部長 穂田 慶孝  
各活動や対象者との面接など長期に渡り制限されていた中、規模の縮小や時間短縮というかたちで社会参加活動を実施した二年間でした。

多摩連地活部会に参加し、当地区の活動報告の際、自然の中で行う神代農場の社会参加活動に対し多くの質問を受けました。他地区でも公園や駅前での清掃活動はあるようですが、虹鯿調理や竹垣作りなどの体験型の内容に興味を示されました。

地活部長三年目、前述の貴重な活動を継続できるよう調整致します。皆様よろしくお願い致します。



研修部長 園田 和子

これまで研修部に長く関わってきましたが、今年は、ほぼ全ての行事が三年ぶりに通常開催となり、少し戸惑うこともありまして。今までの経験を思い起こし、副部長・部員の皆さんの協力で支えられて、これから二年間を頑張りたいと思えます。

年三回の地域別定例研修には、補講もあります。管外研修・自主研修・新任研修(就任五年までの方を対象)も企画しています。皆様のご参加をお待ちしております。

広報部長 酒井 淳

ここ数年コロナ禍のなか、対面での活動行事が自粛されてきましたが、今年は総会、地区別定例研修、社会を明るくする運動などコロナ以前の活動に戻りつつあります。今号では立正大学教授鹿嶋真弓氏による「オンライン講演会」収録に参加取材し紹介いたしました。ご執筆をお引き受けくださった方々、並びに編集校正作業に従事してくださった広報部の皆様のお陰をもちまして、四十九号を発行することができたこと深く感謝いたします。



厚生保護法人日本更生保護協会主催講演会  
「生きる力は君の中にある」

酒井 淳

令和五年五月二十四日(水)千駄ヶ谷の更生保護協会にて立正大学教授 鹿嶋真弓氏による「オンライン講演会」の収録がおこなわれ調布・狛江地区より三名が参加した。

講演は現在社会問題となっている「不登校」についての講義、並びに鹿嶋真弓氏が著し日本更生保護協会より刊行された教材『生きる力』はきみの中にあるというところを用いたワークシヨップとの二部構成で行われた。この講演は収録され研修教材として活用されるとのこと。鹿嶋真弓氏は三十年間中学校の教員をされ、同課題にとりくまれた経験から不登校に対する大人の認識のずれが問題を難しくして来たこと。不登校の理由には後付が多く、子どもたちの抱えるストレスは多様な要素があること。小学校から中学校は中一ギャップとよばれ、不登校が三倍となるが中学生は多感な時期で、大人のことを受け入れられないため、子どもたちを包み込む大人がいなければ、ぶつかりあうこととなる。支援は子供たちができることから、少しずつでも自分自身の意志によって生きていけるように子供たちのもつ力を育

てることが大切なこと。不登校などの躓きをネガティブに捉えるのではなく、必要で大事なことでポジティブに変えて欲しいと話された。

『生きる力』はきみの中にあるというところは中学生が自己理解を深め、他者とのコミュニケーションの取り方を学ぶことを目的としたワークブック。ワークを行うための教師用指導書を添え、授業ですぐに活用できる教材になっている。自ら生きてきて困ったこと、困難なことから何によって救われてきたかを、十二のツールを用いたワークブックとしてまとめられている。

『生きる力』はきみの中にあるというところは一部五百円で日本更生保護協会より刊行されています。オンライン講演会もネット上で視聴できます。詳細は日本更生保護協会までお問い合わせください。



地域別定例研修報告

石谷 清隆

新人である私にとって研修での学びは新鮮で実際場面で役に立つであろうと思われるものばかりです。まだ実際に対象者との関わりはありま

せんが、本当に自分にできるだろうかと不安が募りつつも具体的な講師の方々のご指導により少しずつ自信をつけている今日この頃です。

今回の研修会の前日が、立川第二法務庁舎で行われた「新任保護司研修」でした。調布・狛江地区管外研修で訪問した八王子の紫翠苑の施設長さんとお話をしに来てくださいました。他の新保護司は初対面なのに、私が知っている方がいらしてなんだか嬉しくなると同時に調布・狛江の地区研修のタイムリーさに感謝していました。その新任研修でもグループディスカッションがありました。今回の事例検討のグループ討議とは大きな違いがあったと思います。それは、今回は先輩方の豊富な経験を事例と重ね合わせながら聞き取ることができたことです。先輩諸氏の経験値が私ども新人には何より力強いものであることを改めて認識したと思います。そして、齊藤保護観察官の講義は勿論のことですが、「生活環境の調整」がいかに大切であるかを今回の研修全体を通して理解できました。

私たちには、犯罪や非行からやり直そうと決意してきた人たちに對して、改善更生を助け再犯・非行を防止するという責務があります。それも「環境」の一つなのだと考えました。私も含め、多方面から「復帰

する対象者が生きやすい環境を事前に整えること」このことに目を向けられるようになり、私にとって価値の高い研修でした。

神代農場事前作業

鈴木 宗貴

六月十日、翌日の社会参加活動の事前準備を行いました。翌日の天気予報が朝から雨となり、中止としたことから、竹垣を作る箇所に杭を打ち、ロープを張る仮養生作業を行いました。

作業後は、先生の案内で農場を散策。「幻のわさび」と言われる「大沢わさび」などのわさび田や、ニジマスや、イワナ、ヤマメの養殖池などを見学させていただきました。



# 明るくする運動



## 味の素スタジアム PR

7月1日(土)FC東京vs柏レイソル



## 國領神社夏祭りPR



7月24日(月)  
狛江市民ホール  
(エコルマホール)



7月8日(土)國領神社

## 推進大会とコンサート



### 中学生啓発標語優秀作品

- |                     |          |        |
|---------------------|----------|--------|
| あなたから 始めてみよう その勇氣   | 第二中学校 三年 | 釜下 千鶴  |
| 見ないふり それはあなたも いじめっ子 | 第二中学校 三年 | 宮野 桃花  |
| 忘れずに ネットの奥には 人がいる   | 第二中学校 三年 | 三浦 ゆい  |
| 差し出す手 心の扉を 開く鍵      | 第三中学校 三年 | 深澤 柚美子 |
| 寄り添えば 心と心が つながるね    | 第四中学校 二年 | 久保田 蘭菜 |



# 第73回 社会を

## 駅頭PR活動

7月3日(月)調布駅・国領駅・仙川駅・狛江駅



### 桐友会だより

土屋 邦子

五月二十九日、たづくりにて桐友会総会が開催されました。

当日は会員、保護司会、事務局合計二十二名、新入会員も三名出席してくださり、盛会でした。

事業報告、情報交換の後、一階の喫茶室に移動、懇親会で冷たいビールで喉をうるおし、久しぶりに楽しい時間を過ごしました。

入会して初めて参加した会員は、「とても楽しかった。来年も是非参加したい」とごきげんでした。

当地区の会員は現在二十二名です。来年度は会独自の活動も計画したいと思っております。

### 更生保護女性会だより

内海 貴美

令和五年五月八日より、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが五類感染症となりました。

私たち更女の活動も従来に近づき、四月に開催されました総会では、ご来賓の方をお迎えすることができました。

また、七月の「社会を明るくする運動」では、保護司の方々と共に駅

頭広報活動および、狛江市では中学生による吹奏楽部のコンサートも開催でき、市民の皆様と触れ合うことの充実感を味わえました。

十二月には、調布市の福祉まつりに参加し、手作り品のバザーを行う予定です。

皆さま、遊びに来てください。

### BBS会だより

会長 宮崎 真

弊会に本年一月大学院生が加わり、また新たに大学一年生も加わりました。若い方がBBSの活動に共感し、入会してくださったことは大変心強い限りです。コロナ禍前の活動状況とまではいきませんが、新しいメンバーが加わったことを契機に少しずつ活動を盛り上げて参りたいと思います。保護司会の皆様にはご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、今後ともご指導ご鞭撻の程どうぞ宜しくお願い致します。



### 春の叙勲



瑞宝双光章

愛甲 悦子

ご受章おめでとうございます

### 今後の予定

九月三十日〜十月一日

調布分区自主研修

@田川ふれあい義塾

十月十八日

地域別定例研修Ⅱ期

地区管外研修

十月三十日

@横浜刑務所

十一月二十五日中学生意見発表会

十一月二十八日更生保護事業関係者

都頭彰式典

十二月八日

多摩連祝賀会

十二月

深大寺社会参加活動

一月十二日

狛江分区自主研修

地区新年会

調布分区自主研修

### 総会報告

#### 狛江分区総会

日時 四月六日(木) 午後四時  
場所 防災センター3階会議室  
十六名参加

#### 調布分区総会

日時 四月七日(金) 午後三時  
場所 たづくり十二階大会議場  
三十名参加

#### 調布・狛江地区総会

日時 四月十四日(金) 午後三時  
場所 たづくり十二階大会議場  
三十五名参加



### 白百合女子大学 坂本ゼミにて授業

鈴木 宗貴

五月十七日、白百合女子大学坂本健教授の三年生のゼミ生八名に対して、神代農場での社会参加活動を前にして、更生保護と社会参加活動について、保護司の担当したケースなどを交えてお話ししました。

司法・犯罪心理学は、公認心理士の受験資格を満たすための指定科目にもなっており、犯罪者の心理だけでなく、家庭や学校などの環境要因、社会復帰や自立更生を支える仕組みについても学びます。



### 退任

令和五年 五月八日 退任

安藤 信明(調布分区)

永年にわたるご活躍

ありがとうございます

### あとがき

鈴木 久美子

日中の気温が三十五℃を超える天気予報にすっかり慣れたこの夏。思い返せばコロナが五類へと移行し、春から一斉に各所で以前のような活動が再開しました。手探りで活動を再始動した方も多いと思いますが、人とのふれあいや声を出しての活動が如何に大きな喜びをもたらしてくれていたか、再認識されたのではないのでしょうか。

秋本番を迎え、保護司会も喜びを重ねながら更に活動を深めていきたいと思えます。

### 広報(編集)部員

- |     |       |        |
|-----|-------|--------|
| 部長  | 酒井 淳  | 伊藤 知弘  |
| 副部長 | 嵐 祐子  | 門傳 良男  |
| 副部長 | 三角 武久 | 鈴木 久美子 |
| 副部長 | 田中 久和 | 愛甲 悦子  |
| 書記  | 栗山 剛  |        |
| 会計  | 林田 堯瞬 |        |